

議第125号

令和6年度 酒田市水道事業会計補正予算（第2号）

（総 則）

第 1 条 令和6年度酒田市水道事業会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（業務の予定量）

第 2 条 令和6年度酒田市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第2条第4号を次のとおり改める。

（4）主要な建設改良事業

配 水 設 備 改 良 事 業	982,887 千円
原 浄 水 設 備 改 良 事 業	16,818 千円
簡 易 水 道 施 設 改 良 事 業	155,375 千円

（収益的收入及び支出）

第 3 条 予算第3条に定めた収益的收入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
収 入			
第 1 款 水 道 事 業 収 益	2,743,722 千円	70,910 千円	2,814,632 千円
第 3 項 特 別 利 益	0 千円	70,910 千円	70,910 千円
支 出			
第 1 款 水 道 事 業 費 用	2,760,740 千円	51,215 千円	2,811,955 千円
第 1 項 営 業 費 用	2,579,910 千円	1,215 千円	2,581,125 千円
第 3 項 特 別 損 失	96,969 千円	50,000 千円	146,969 千円

（資本的收入及び支出）

第 4 条 予算第4条本文括弧書中、「不足する額 1,474,569千円」を「不足する額 1,332,308千円」に、「建設改良積立金 454,153千円」を「建設改良積立金 311,892千円」に改め、資本的收入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
収 入			
第 1 款 資 本 的 収 入	90,938 千円	143,390 千円	234,328 千円
第 1 項 企 業 債	74,800 千円	128,700 千円	203,500 千円
第 2 項 補 助 金	360 千円	14,690 千円	15,050 千円
支 出			
第 1 款 資 本 的 支 出	1,565,507 千円	1,129 千円	1,566,636 千円
第 1 項 建 設 改 良 費	1,159,025 千円	1,129 千円	1,160,154 千円

（債務負担行為）

第 5 条 予算第5条に定めた債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額について、次のとおり補正する。

（追 加）

事 項	期 間	限 度 額
八幡簡易水道配水管災害復旧工事	令和6年度から 令和7年度まで	132,700 千円

（企業債）

第 6 条 予算第6条に定めた起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、次のとおり補正する。

（追 加）

起債の目的	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
災害復旧事業	128,700 千円	証書借入	借入先との 協定による	借入先の融資条件による。 ただし、財政の都合により償 還年限を短縮し、繰上償還を し、又は低利債に借り換える ことができる。

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費）

第 7 条 予算第9条第1号を次のとおり改める。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
(1) 職 員 給 与 費	278,093 千円	2,344 千円	280,437 千円

令和6年12月2日 提出

山形県酒田市長 矢 口 明 子

補正予算に関する説明書

令和6年度 酒田市水道事業会計補正予算（第2号）実施計画

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 水道事業収益			2,743,722	70,910	2,814,632	
	3 特別利益		0	70,910	70,910	
		1 その他特別利益	0	70,910	70,910	災害復旧に係る国庫補助金の増

支 出

(単位：千円)

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 水道事業費用			2,760,740	51,215	2,811,955	
	1 営業費用		2,579,910	1,215	2,581,125	
		4 総 係 費	291,771	1,215	292,986	退職給付費の増
	3 特別損失		96,969	50,000	146,969	
		2 災害による損失	96,000	50,000	146,000	災害による損失の増

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 資 本 的 収 入			90,938	143,390	234,328	
	1 企 業 債		74,800	128,700	203,500	
		1 企 業 債	74,800	128,700	203,500	企業債の増
	2 補 助 金		360	14,690	15,050	
		2 国 庫 補 助 金	0	14,690	14,690	災害復旧に係る国庫補助金の増

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 資 本 的 支 出			1,565,507	1,129	1,566,636	
	1 建 設 改 良 費		1,159,025	1,129	1,160,154	
		1 配 水 設 備 改 良 費	981,758	1,129	982,887	手当の増

債務負担行為に関する調書

事 項	限度額 (千円)	前年度末までの支払 義 務 (見 込) 額		当該年度以降の支払 義 務 発 生 予 定 額		左の財源内訳		
		期 間	金 額 (千円)	期 間	金 額 (千円)	国 庫 補助金 (千円)	企業債 (千円)	その他 (千円)
八幡簡易水道配水管災害 復旧工事	132,700	—	—	令和6年度から 令和7年度まで	132,700	92,890	27,800	12,010

令和6年度 酒田市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

		(単位：千円)
1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益（△は純損失）	△ 31,874
	減価償却費	918,888
	固定資産除却費	20,126
	貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 23
	退職給付引当金の増減額（△は減少）	△ 1,487
	修繕引当金の増減額（△は減少）	△ 154,715
	賞与引当金の増減額（△は減少）	838
	長期前受金戻入額	△ 21,295
	4条特定収入消費税	△ 1,240
	受取利息及び配当金	△ 86
	支払利息	32,735
	未収金の増減額（△は増加）	105,882
	たな卸資産の増減額（△は増加）	100
	未払金の増減額（△は減少）	44,135
	未払費用の増減額（△は減少）	△ 8,927
	前受金の増減額（△は減少）	268
	預り金等の増減額（△は減少）	3,296
	小 計	906,621
	利息及び配当金の受取額	86
	利息の支払額	△ 32,735
	業務活動によるキャッシュ・フロー	873,972
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 1,147,297
	国庫補助金による収入	14,690
	一般会計からの補助金による収入	360
	負担金による収入	13,546
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,118,701
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	244,100
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 406,482
	一般会計からの出資による収入	2,232
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 160,150
	資金増加額（又は減少額）	△ 404,879
	資金期首残高	5,125,697
	資金期末残高	4,720,818

給 与 費 明 細 書

1 総括

区分	職員数		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職 (人)	一般職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	手 当 (千円)	計 (千円)		
補正後		(1) 29	1,425	128,013	108,629	238,067	42,370	280,437
補正前		(1) 30	1,425	128,013	106,285	235,723	42,370	278,093
比較		(0) △ 1	0	0	2,344	2,344	0	2,344

※（ ）内は、定年前再任用短時間勤務職員、暫定再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員について外書きしたもの。

手当の内訳	区分	管理職手当 (千円)	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	特殊勤務手当 (千円)	特地勤務手当 (千円)	時間外勤務手当 (千円)
	補正後	1,296	4,710	2,765	1,410			8,275
	補正前	1,296	4,710	2,568	1,410			7,891
	比較	0	0	197	0			384

手当の内訳	区分	管理職員特別勤務手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	寒冷地手当 (千円)	児童手当 (千円)	退職手当 (千円)	計 (千円)
	補正後	35	29,890	24,401		3,395	32,452	108,629
	補正前	35	29,890	24,373		2,875	31,237	106,285
	比較	0	0	28		520	1,215	2,344

(1) 会計年度任用職員以外の職員

区分	職員数		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職 (人)	一般職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	手 当 (千円)	計 (千円)		
補正後		(0) 29		128,013	108,124	236,137	42,034	278,171
補正前		(0) 30		128,013	105,780	233,793	42,034	275,827
比較		(0) △ 1		0	2,344	2,344	0	2,344

※（ ）内は、定年前再任用短時間勤務職員及び暫定再任用短時間勤務職員について外書きしたもの。

手当の内訳	区分	管理職手当 (千円)	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	特殊勤務手当 (千円)	特地勤務手当 (千円)	時間外勤務手当 (千円)
	補正後	1,296	4,710	2,765	1,410			8,275
	補正前	1,296	4,710	2,568	1,410			7,891
	比較	0	0	197	0			384

手当の内訳	区分	管理職員特別勤務手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	寒冷地手当 (千円)	児童手当 (千円)	退職手当 (千円)	計 (千円)
	補正後	35	29,610	24,176		3,395	32,452	108,124
	補正前	35	29,610	24,148		2,875	31,237	105,780
	比較	0	0	28		520	1,215	2,344

(2) 会計年度任用職員

区分	職員数		給 与 費				法定福利費 (千円)	合 計 (千円)
	特別職 (人)	一般職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	手 当 (千円)	計 (千円)		
補正後		(1)	1,425		505	1,930	336	2,266
補正前		(1)	1,425		505	1,930	336	2,266
比較		(0)	0		0	0	0	0

※（ ）内は、パートタイム会計年度任用職員について外書きしたもの。

2 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説 明	備 考
給 料	0	給与改定に伴う増減分	0		
		昇給に伴う増加分	0		
		その他の増減分	0		
手 当	2,344	制度改正に伴う増減分	520	児童手当	
		その他の増減分	1,824	時間外手当等 異動等による調整	384 1,440

手 当 の 内 訳	区分	管理職手当 (千円)	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	特殊勤務 手 当 (千円)	特勤勤務 手 当 (千円)	時間外勤務 手 当 (千円)
	補正後							
	補正前							
	比較							

手 当 の 内 訳	区分	管理職員特 別勤務手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	寒冷地手当 (千円)	児童手当 (千円)	退職手当 (千円)	計 (千円)
	補正後		280	225				505
	補正前		280	225				505
	比較		0	0				0

令和6年度酒田市水道事業予定貸借対照表
(令和7年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1	固 定 資 産			
(1)	有 形 固 定 資 産			
	イ 土 地	244,678		
	ロ 建 物	2,097,579		
	ハ 構 築 物	38,745,206		
	ニ 機 械 及 び 装 置	5,830,663		
	ホ 車 両 運 搬 具	14,081		
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	71,185		
	ト 建 設 仮 勘 定	150,087		
	減 価 償 却 累 計 額	△ 28,366,368		
	有 形 固 定 資 産 合 計		18,787,111	
(2)	無 形 固 定 資 産			
	イ 地 上 権	64		
	ロ 電 話 加 入 権	144		
	ハ その他無形固定資産	806		
	無 形 固 定 資 産 合 計		1,014	
	固 定 資 産 合 計			18,788,125
2	流 動 資 産			
(1)	現 金 ・ 預 金		4,720,818	
(2)	未 収 金			
	イ 営 業 未 収 金	274,224	274,224	
(3)	未 収 金 貸 倒 引 当 金		△ 1,636	
(4)	貯 蔵 品		16,961	
(5)	前 払 費 用		763	
	流 動 資 産 合 計		5,011,130	
	資 産 合 計		23,799,255	

負 債 の 部

3	固 定 負 債			
(1)	企 業 債			
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	1,304,144	1,304,144	
(2)	引 当 金			
	イ 退 職 給 付 引 当 金	404,700		
	ロ 修 繕 引 当 金	978,268	1,382,968	
	固 定 負 債 合 計			2,687,112

4	流 動 負 債			
(1)	企 業 債			
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	348,945	348,945	
(2)	未 払 金		273,413	
(3)	未 払 費 用		389	
(4)	前 受 金		354	
(5)	引 当 金			
	イ 賞 与 引 当 金	21,694	21,694	
(6)	そ の 他 流 動 負 債		6,156	
	流 動 負 債 合 計			650,951
5	繰 延 収 益			
(1)	長 期 前 受 金		965,268	
(2)	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額		△ 219,627	
	繰 延 収 益 合 計			745,641
	負 債 合 計			4,083,704
資 本 の 部				
6	資 本 金			
(1)	自 己 資 本 金		16,178,575	
	資 本 金 合 計			16,178,575
7	剰 余 金			
(1)	資 本 剰 余 金			
	イ 工 事 負 担 金	183		
	ロ 受 贈 財 産 評 価 額	724		
	資 本 剰 余 金 合 計		907	
(2)	利 益 剰 余 金			
	イ 建 設 改 良 積 立 金	3,255,976		
	ロ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	75		
	ハ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	31,874		
	ニ その他未処分利益 剰 余 金 変 動 額	311,892		
	利 益 剰 余 金 合 計		3,536,069	
	剰 余 金 合 計			3,536,976
	資 本 合 計			19,715,551
	負 債 資 本 合 計			23,799,255

注 記

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- 1 たな卸資産の評価基準及び評価方法
たな卸資産（貯蔵品）は移動平均法による原価法による。
- 2 固定資産の減価償却方法
(1) 有形固定資産
・減価償却の方法 資産取得の翌年度から定額法による。
・主な耐用年数 建物 3～50年 構築物 2～78年
機械及び装置 2～20年 車両運搬具 5年
工具器具及び備品 2～20年
(2) 無形固定資産
・減価償却の方法 資産取得の翌年度から定額法による。
・主な耐用年数 その他無形固定資産のうちソフトウェア 5年
- 3 引当金の計上方法
(1) 退職給付引当金
職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。
(2) 賞与引当金
職員の期末手当・勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。
(3) 貸倒引当金
債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。
- 4 消費税等の会計処理基準
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式による。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。

II 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

- ・資金残高は貸借対照表の現金・預金に等しい。
- ・キャッシュ・フロー計算書は間接法により算出している。

III 予定貸借対照表に関する注記

- 1 企業債の償還に係る他会計の負担
貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、1,828千円である。

IV セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

事業区分	事業の内容
酒田地区上水道事業	水道法の適用を受ける旧酒田市水道事業区域において、水道水を供給する業務
飛島簡易水道事業	水道法の適用を受ける飛島簡易水道事業区域において、水道水を供給する業務
八幡簡易水道事業	水道法の適用を受ける八幡簡易水道事業区域において、水道水を供給する業務
松山地区上水道事業	水道法の適用を受ける旧松山町水道事業区域において、水道水を供給する業務
柏谷沢小規模水道事業	山形県小規模水道条例の適用を受ける柏谷沢小規模水道事業区域において、水道水を供給する業務
平田地区上水道事業	水道法の適用を受ける旧平田町水道事業区域及び旧小林簡易水道区域において、水道水を供給する業務

2 報告セグメントごとの営業収益等

令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

(単位：千円)							
	酒田地区		八幡地区	松山地区		平田地区	合 計
	上水道	飛 島 簡 易 水 道	八 幡 簡 易 水 道	上水道	柏 谷 沢 小 規 模 水 道	上水道	
営業収益	2,078,435	3,477	15,642	86,637	737	131,092	2,316,020
営業費用	2,058,905	46,735	68,945	119,669	7,137	144,342	2,445,733
営業損益	19,530	△ 43,258	△ 53,303	△ 33,032	△ 6,400	△ 13,250	△ 129,713
経常損益	41,194	16,948	13,071	△ 25,166	1,099	△ 13,503	33,643
セグメント資産	20,419,398	322,460	805,216	1,003,952	27,840	1,220,389	23,799,255
セグメント負債	3,114,524	170,456	392,087	250,148	1,219	155,270	4,083,704
その他の項目							
他会計負担金	57,611	0	46	438	46	829	58,970
他会計補助金	2,354	62,842	71,912	12,491	7,778	0	157,377
減価償却費	773,751	11,139	45,084	44,044	1,367	43,503	918,888
支払利息	20,053	749	4,766	5,033	0	2,134	32,735
特別利益	45,166	0	23,615	0	0	2,129	70,910
特別損失	85,715	1	44,919	11	2	3,051	133,699
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	832,219	104,989	73,225	51,742	0	85,122	1,147,297

V リース契約により使用する固定資産に関する注記

所有権移転外リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
また、所有権移転リース取引に該当する契約はない。

VI その他の注記

- 1 修繕引当金に関する経過措置
平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。
- 2 引当金の取崩し
(1) 退職給付引当金の取崩し
年度末退職者に対する退職給付金支給のために、22,662千円を取り崩す。
(2) 賞与引当金の取崩し
期末勤勉手当の支給及びそれに伴う法定福利費の支出のために、20,857千円を取り崩す。
(3) 修繕引当金の取崩し
修繕費用の支出のために、修繕引当金154,715千円を取り崩す。